

# いきいきまさきっこ 10月号

令和5年10月 松前町立松前幼稚園



## ～ 未来につなげ 「今」のバトン ～

朝晩の気温が下がり、和らいだ日差しによろやく秋らしさを感じられるようになってきました。園庭のコスモスも次々と花開き、風に揺れながら子どもたちを優しく見守っています。

さて、3年ぶりに制限のない運動会が開催されます。夏日連続記録過去最高となった今年は、9月末まで厳しい残暑が続き、戸外での活動をためらう日もたくさんありましたが、「ガイコツにならんように、先生もちゃんと水分とってね」「ちょっとお部屋いって（涼んで）くる」と声を掛け合い自分の体や心と向き合いながら、運動会に向けて気持ちを高めてきました。「リレーしよう」と友達を誘いはりきって園庭に飛び出していく年長児を筆頭に、初めての運動会となった年少児も自分のペースで「みんなで一緒に踊るの楽しいね」「先生よーいドンしよう」と元気に体を動かしています。

また、年長児と年中児の鼓隊の練習を、「大きくなったらあの丸い大きな太鼓したい」「旗かっこいいな」「ぼくもパーンって（シンバル）してみたい」と憧れの眼差しでじっと見ていました。自分たちのちょっと先を歩き、いろんなことにどんどんチャレンジしている大きい組さんは、「あんな風になりたいな」という身近なモデルになっています。

運動会を目前に控え、年長児のリレーではバトン渡しがうまくなって日ごとに盛り上がってきました。2年前、ニコニコトコトコ手を振りながらそれぞれで走っていた子たちが、腕を大きく振り足を大きくスライドさせながら颯爽と駆け抜け、チームの勝利という同じ目的を持って仲間にバトンを繋いでいく姿に、私自身「たくましくなったなあ」と心打たれます。そんな熱い戦いの中、赤チームと黄チームで体勢を崩したA子ちゃんが転倒する場面がありました。走ることに自信を持つようになり、自分が頑張ることでチームが勝つと信じて懸命に走っていたA子ちゃん自身、地面に突っ伏す自分の状況にびっくりしているようにも見えました。「痛そう。大丈夫かな」と年少児も心配していました。A子ちゃんは友達にも励まされながら何とか起き上がり、2周目も先生に支えられながら頑張っていました。チームが負けてしまい、そのショックでしばらく立ち直れませんでした。それだけ、全身全霊で取り組んでいたのだろうし、初めての「まさか」の事態に心が追い付かず戸惑ったのかもしれない。同じチームの子たちの表情も、リレーに負けて「悔しい」「なんで」という気持ちと転んでも頑張っていた友達に「大丈夫？」「頑張ったね」と寄り添う気持ちが見え隠れしていました。競い合う以上、勝ち負けはつきまします。もちろん、勝負するなら勝ちたいし、失敗より成功したいものです。年長児のこの「まさか」の事態は、この時のリレーの結果上は負けてしまったけれど、長い目で見れば、生きていく上で必要な「挫折・逆境とどう向き合うか」に繋がるいい経験になったと思います。



先日、「明るい人権の町づくり大会」に参加し、『home』（♪かーえーろうか もうかえろーうよー…）を歌う木山裕策さんの講演を聞いてきました。甲状腺ガンの手術を乗り越えた木山さんは、「1回きりの人生を悔いなく楽しみたい」「子どもたちに最後まで諦めない姿を見せたい」と長年の夢だった歌手に39歳で挑戦したのだそうです。順風満帆、いつも通りの毎日が当たり前前に送れることはありがたいことですが、人生何が起きるか、どこで転ぶかわかりません。それは大人も子どもも同じです。転んだ時にどうするか。「もうやめた」と潔く諦めることもあれば、立ち上がりリベンジに挑むこともあるでしょう。その時にどう未来を選択し自己決定するかは、これまでの自分の経験が判断材料の一つになります。ふとあの年長児のリレーの場面を思い浮かべながら、松前幼稚園の子どもたちは、転んでも立ち上がってみんなで乗り越えていく毎日をすごしているなと思いました。運動会当日は、たくさんのお客さんを前にしていつもと違う展開も予想されますが、一人一人がその瞬間に立ち向かい自分の力を出しながら、運動会を楽しめるといいなと思っています。応援よろしくをお願いします。



## 10月保育のねらい ～今月は子どもたちとこんなふうにしよしたいな～

- 3歳児 ○ 好きな友達と一緒に遊びながら、自分の思ったことや感じたことを表現して遊ぼう。
- ・ 戸外に出て秋の自然にふれながら、体を動かして遊ぶ心地よさを味わおう。
  - ・ 身近な材料や用具を自分なりに使い、かいたり作ったりして遊びに取り入れ自分の思いを表現しよう。
  - ・ 友達や年中・年長児などいろいろな人と触れ合い一緒に遊ぶ中で、様々な遊びや活動に興味をもとう。
- 4歳児 ○ 友達との関わりを広げながら、一緒に活動する楽しさを味わおう。
- ・ 友達や教師と一緒に好きな遊びをじっくり楽しもう。
  - ・ 身近な秋の自然を感じながら、作ったり描いたりして表現しよう。
- 5歳児 ○ 友達と思いや考えを出し合いながら、遊びを進めていく楽しさを味わおう。
- ・ チームの友達と協力し、仲間意識をもってやり遂げよう。
  - ・ 移りゆく秋の自然を感じながら、じっくりと作ったり描いたりすることを楽しもう。